

## 特長

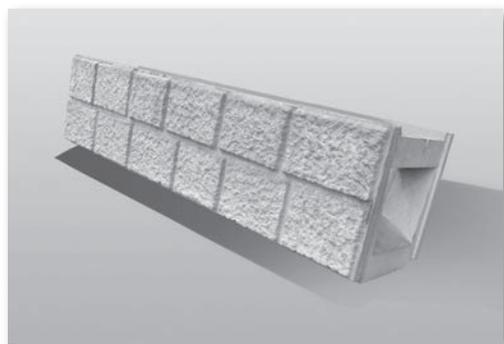
- I型は、表面に設けられた開口穴により石積み護岸と同様の透水性を発揮し、河川と地下水の連続性を保つことができます。
- I型の開口穴は、緑化を目的と下場合には植生の繁茂できる面積を増大させ、継続的な植生回復が期できます。魚巢を目的とした場合には充填された割栗石により多様な空隙が形成され、魚類や昆虫等の様々な水生生物の生息場所となります。
- I型・IV型の異なる型式の製品でも控え長さが同じであれば組み合わせて使用できます。
- ブロックの左右方向はボルトにより連結され、上下方向は凹凸のかみ合わせ構造なので土圧や流速に対して強固な護岸を構築できます。また、I型は左右のブロック間に胴込コンクリートを打設することが可能なため、練り積み構造の護岸が構築できます。

## 製品のイメージ例

I型500重量タイプ



IV型500標準タイプ



## 製品の概要

製品名	規格 (mm)	自然環境		1㎡当りの使用個数 (個)	使用する中詰材・胴込材	1㎡当りの壁体質量 (kg)	底版の有・無
	控え×高さ×長さ	植物	魚類				
ビオトーン I型重量タイプ	500×500×2000	○	○	1	割栗石 (径50～150mm)	866	有
ビオトーン IV型標準タイプ底付	500×500×2000			1	割栗石 (径50～150mm)	948	有
ビオトーン IV型標準タイプ底無	500×500×2000			1	割栗石 (径50～150mm)	919	無

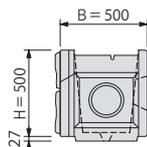
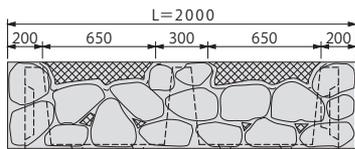
※中詰材・胴込材の質量は単位体積質量を割栗石の場合1400kg/㎡で算出しました。

※ビオトーン I型の壁体質量は勾配毎に異なります。上表は5分勾配での質量です。

# 製品形状

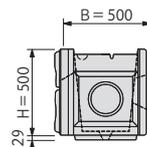
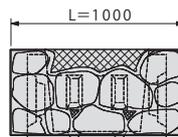
## I型500重量タイプ

 開口部

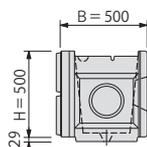
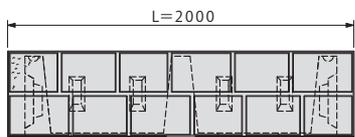


## I型500重量タイプ

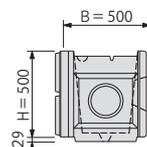
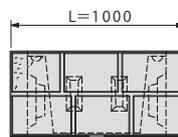
 開口部



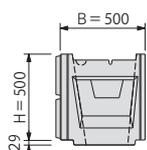
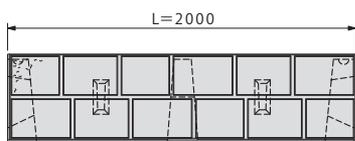
## IV型500標準タイプ底付



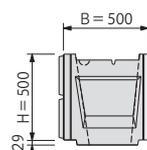
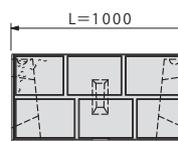
## IV型500標準タイプ底付



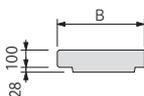
## IV型500標準タイプ底無



## IV型500標準タイプ底無



## 天端ブロック



※図はI型500用を参照しています。

# 寸法表

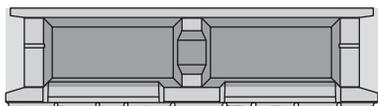
形式	呼 名			単 価 (円)	参考質量 (kg)	規格寸法 (mm)		
	控長さ	タイプ名	呼び長さ			B	H	L
I 型	500	重 量 タ イ プ	1.0m	別途見積	240	500	500	1000
			2.0m	〃	530	500	500	2000
IV 型	500	標準タイプ底付	1.0m	〃	290	500	500	1000
			2.0m	〃	590	500	500	2000
		標準タイプ底無	1.0m	〃	280	500	500	1000
			2.0m	〃	550	500	500	2000
	500	天 端	1.0m	〃	140	500	100	996

## 中詰材・胴込材数量表

### ● I型重量タイプ・IV型標準タイプ底付

(m/個)

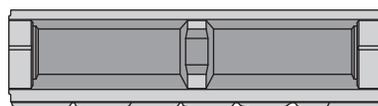
擁壁勾配	中詰数量		胴込数量
	I型重量タイプ	IV型標準タイプ	
3分	0.177	0.203	0.053
4分	0.183	0.203	
5分	0.187	0.203	
1割	0.195	0.203	
全充填	0.203	0.203	



### ● IV型標準タイプ底無

(m/個)

呼名	中詰数量
500標準タイプ	0.264



□ 胴込材  
■ 中詰材

## 参考歩掛り（自社オリジナル歩掛り）

### ● 据付歩掛り

(10m当り)

名称	規格	単位	数量	備考
世話役		人	0.20	
ブロック工		人	0.40	
普通作業員		人	0.80	
ラフテレーンクレーン	25t吊り	日	0.40	

※上記歩掛りは20m程度の現場内移動を含んだ製品据付歩掛りです。  
土工・基礎工・中詰工・裏込工・吸出防止材工・天端工などの工種は別途歩掛りを計上してください。

※クレーンの規格は施工条件により適宜変更してください。

### ● 中詰材・胴込材充填歩掛り

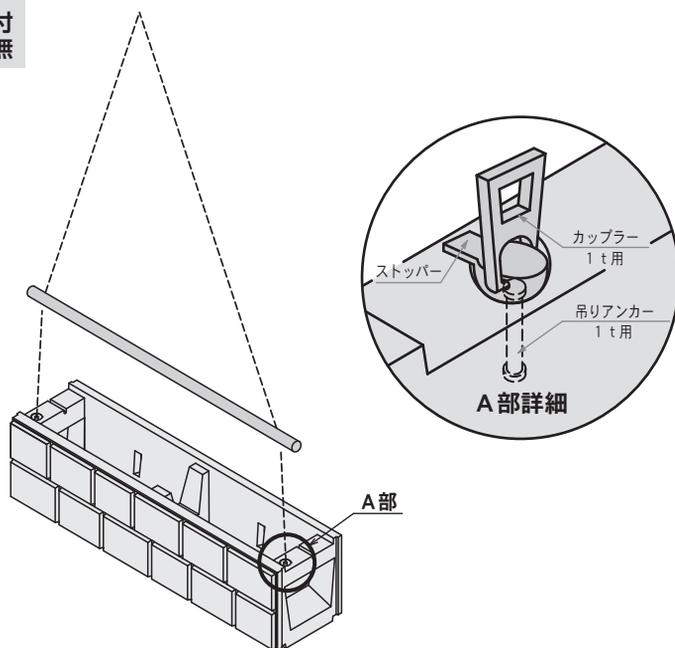
(1m当り)

名称	規格	単位	数量	備考
普通作業員		人	0.30	

※上記歩掛りはブロック付近に搬入された材料を充填する場合を想定した歩掛りです。必要により現場内運搬を計上ください。

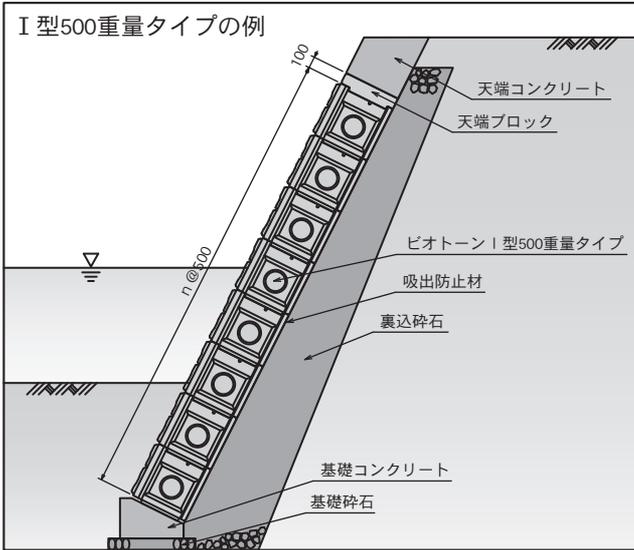
## 製品の吊り上げ方法

I型重量タイプ  
IV型標準タイプ底付  
IV型標準タイプ底無



※製品上面の吊りアンカーにカップラーを取付け、ストッパーが製品に当たるまで回転させ、吊り上げます。  
また、据付け完了後は吊りアンカーの周囲にモルタルを充填してください。

# 標準断面例



I 型500重量タイプ



# 明度・テクスチャー証明書

全編用紙番号 4229号

### テクスチャー証明書

ランダス株式会社 様

貴社より依頼を受けた「ピオトンI型 重量タイプ」の輝度の標準偏差(平均)は、次の通りであることを証明します。

輝度の標準偏差(平均) 12

製品名 : ピオトンI型 重量タイプ  
 規格寸法 : 縦 300mm×横 2000mm  
 製造年 : 2018年10月 14日  
 撮影日時 : 2018年12月 21日 午前 10時 20分  
 撮影機材 : 輝度  
 撮影場所 : FUGAFILM FENOSPEX P776000  
 備考 :

平成30年9月16日

全編用紙発行人 全編用紙センターグループ株式会社  
 会長 本間 文士

全編用紙番号 4230号

### 明度証明書

ランダス株式会社 様

貴社より依頼を受けた「ピオトンI型 重量タイプ」の平均輝度は、次の通りであることを証明します。

平均明度 5.5

製品名 : ピオトンI型 重量タイプ  
 規格寸法 : 縦 300mm×横 2000mm  
 製造年 : ランダス株式会社 未定工場  
 製造日 : 2018年10月 21日  
 撮影機材 : ランダス株式会社 未定工場  
 撮影日時 : 2018年12月 21日 午前 11時 18分  
 撮影場所 : 輝度  
 撮影場所 : FUGAFILM FENOSPEX P776000  
 備考 :

平成30年10月17日

全編用紙発行人 全編用紙センターグループ株式会社  
 会長 本間 文士

## ピオトンI型 重量タイプ

- 明度証明書  
平均明度 5.5
- テクスチャー証明書  
輝度の標準偏差(平均) 12

全編用紙番号 4229号

### テクスチャー証明書

ランダス株式会社 様

貴社より依頼を受けた「ピオトンI型 重量タイプ」の輝度の標準偏差(平均)は、次の通りであることを証明します。

輝度の標準偏差(平均) 2.8

製品名 : ピオトンI型 重量タイプ  
 規格寸法 : 縦 300mm×横 2000mm  
 製造年 : 2018年10月 14日  
 撮影日時 : 2018年12月 21日 午前 10時 20分  
 撮影機材 : 輝度  
 撮影場所 : FUGAFILM FENOSPEX P776000  
 備考 :

平成30年10月17日

全編用紙発行人 全編用紙センターグループ株式会社  
 会長 本間 文士

全編用紙番号 4230号

### 明度証明書

ランダス株式会社 様

貴社より依頼を受けた「ピオトンI型 重量タイプ」の平均輝度は、次の通りであることを証明します。

平均明度 6.0

製品名 : ピオトンI型  
 規格寸法 : 縦 300mm×横 2000mm  
 製造年 : ランダス株式会社 未定工場  
 製造日 : 2018年10月 14日  
 撮影機材 : ランダス株式会社 未定工場  
 撮影日時 : 2018年12月 21日 午前 11時 40分  
 撮影場所 : 輝度  
 撮影場所 : FUGAFILM FENOSPEX P776000  
 備考 :

平成27年11月25日

全編用紙発行人 全編用紙センターグループ株式会社  
 会長 本間 文士

## ピオトンIV型

- 明度証明書  
平均明度 6.0
- テクスチャー証明書  
輝度の標準偏差(平均) 28